

トピックス

種苗生産技術研修会

9月18日に水技センターにおいて広島県水産種苗生産者組合（佐藤幹夫会長）主催の第18回種苗生産技術研修会が開催され、最新の飼育技術などが熱心に討論されました。長崎大学萩原教授の講演は、日本水産資源保護協会の巡回教室として実施されました（講演要旨、3ページに記載）。

- ① 免疫不活剤 マクロチャージ製品説明について
川崎製薬(株)水産営業部 渡辺 力夫
- ② タウリンを利用した低・無魚粉飼料の有効性
日清丸紅飼料(株)水産研究部 興石 友彦
- ③ 数種の海産仔魚に対する低塩分海水の有効性
広島総研水産海洋技術センター 御堂岡あにせ
- ④ 閉鎖式循環飼育技術の概要
(独)水産総合研究センター 山本 義久
- ⑤ 汽水産ミジンコの培養と海産仔魚への餌料価値について
長崎大学大学院教授 萩原 篤志



水産総合研究センター
屋島栽培漁業センター
山本場長の講演の様子

一般公開を開催 みて、ふれて、楽しもう、海の幸！

当センターの一般公開を11月15日（日）に開催しました。今年、「みて、ふれて、楽しもう海の幸！」をメインテーマとし、朝からの強風の中、地元の音戸・倉橋地区の方を中心に900名の来所がありました。

主な展示として「まるごとかき…あなたもかき博士」のコーナーを設け、日本一の生産量を誇る「広島かき」について、かき養殖や試験研究の歴史、かきの栄養、かき小町や縞かきなどの新しいブランドかきの展示をしました。さらに「かき検定」や「かき殻の神経衰弱」なども行いました。かき検定では、成績の良かった人に「かき博士」の認定証を発行しました



また、「海の生き物タッチプール」では、子供たちが夢中になって魚を追いかけていました。アンケート結果でも、「タッチプール」と「魚の赤ちゃん」コーナーの人气が高く、来年に向けて、さらに子供たちが喜ぶ内容にしていきたいと考えています。



総合技術研究所の 成果発表会

10月21日広島市の八丁堀シャンテにおいて、平成21年度広島県立総合技術研究所の成果発表会が開催されました。水産分野では、「一粒かきの技術開発について」若野副主任研究員が発表しました。研究成果の普及先を代表して江田島市水産物等販売協議会の内藤会長が広島新ブランドかき「ひとつぶくん」について発表し、多くの質疑がよせられました。また、ポスター発表では、「生物餌料の減菌技術について」飯田副部長の研究成果を展示しました。



若野副主任研究員と内藤会長

ゴンズイに気をつけて！！

見たことのないナマズのような魚が刺網にかかり、知らずにさわって、当分うずいたという話のあるゴンズイを紹介します。

ゴンズイは、ナマズの仲間、唯一海水魚です。背鰭と胸鰭に毒腺があり、さわるときには注意が必要です。太平洋岸には、ごく普通にみられる魚で、ボールのように丸く群れて泳ぐ様子から「ゴンズイ玉」として知られています。数年前から、広島県沿岸でみられはじめ、センターの岸壁でも時々ゴンズイ玉が観察

されます。冬の水温が以前のように下がらないため、越冬しているようで、海岸には20cm近い親もみられます。

